

戸倉小学校 教職員 非違行為防止研修の紹介

戸倉小学校では、

- 非違行為・信用失墜行為を絶対に行わない
- 児童や保護者との信頼関係づくり

を目標に、4月から非違行為防止研修を進めてきています。

そのうち、8月に行った研修の様子を紹介します。

1 「非違行為がもたらす悪影響」を全員で読み合わせました。ひとつの非違行為が、児童生徒や保護者、教職員、学校運営、教育委員会などに悪影響を及ぼすことについて具体例を読んで改めて影響の大きさに身の引き締まる思いでした。さらに、私生活では自分だけでなく家族や友人などとの絆をなくすこと、教員免許の失効、自動車免許の取り消しなど、大きな影響を受けることも認識することができました。

先生方の感想より

- ・知らなかった、これくらいは、少しなら、そんな気持ちからの行為が自分だけでなく、子ども、保護者、同僚、家族、親せきなど、多くの人に多大な痛みを与えることが身に染みてわかった。
- ・自分のもとより、周囲の方々みんなに迷惑をかけてしまう。迷惑というレベルを超えた負担をかけてしまうことを常に頭に入れて生活をしていかなければならないことを再認識した。

2 標語づくり

非違行為に結びつく日常の行動に歯止めをかけるための標語づくりを3人グループで行いました。

先生方は、話をしながら、標語を考え、ICT研修で習った「一太郎スマイル」のソフトを使って掲示用の標語を作成しました。にこやかに語り合ううちに、気持ちが近づき、仲間の絆が深まったように感じました。



標語は、職員室の前に掲示して、先生方がいつでも目にするようにしています。